

## 15. アジア未来学校 (2005年1月)

カンボジア事務所所長 安田理裕

### 小学校で一番になりました！

新年、明けましておめでとうございます。

私にとってカンボジアでの3度目の正月を迎えることができました。2月の中国の正月や4月のクメール正月と比べると、これといったお祝い事もなく寂しいカンボジアの元旦ですが、日本人の私にとっては、やはり1つの区切りとしてまた新たな気持ちにさせられます。

### ルセイサン小学校編入児童インタビュー

先にお伝えした公立小学校始業日から3ヶ月を迎え、アジア未来学校から隣村のルセイサン小学校へ編入した子どもたちの後追い調査が今月初めから行われています。これは総勢50名の編入児童の家庭を回りインタビューを行い、編入後の様子や子どもたちが直面している問題などを調査し、特に問題がある場合はサポートを行っていくというものです。出席率の低さや退学率の高さが問題とされるカンボジアの小学校では、こうした作業は、子どもたちが継続して勉強をしていくという上で、大切なものではないかと思えます。総論的な結果は後日ご報告させていただくこととなりますが、その中で印象に残った話を1つご紹介させていただこうと思います。

現在13歳のアン・チェンダーちゃんは開校時の2003年4月から2004年9月まで約1年半未来学校に通い、10月にルセイサン小学校に編入しました。以前には、コンポンチャム州で1年間だけ小学校に通ったことがあるそうです。編入学年は第3学年で、これは編入時の試験の結果決められたものです。ルセイサン小学校に移って困ったことは登下校に30分歩かなければならないことくらいで、学校生活そのものは親切な先生と沢山の友だちに囲まれてとても楽しいと言っています。勉強はどの教科も好きだそうです。教科書にきれいな絵が沢山載っているクメール語(国語)が特に好きだそうです。未来学校での勉強したことがあるとは言え、1学年の飛び級編入でしたので、勉強についていけないかどうか私たち職員は心配していたのですが、ついていけないどころか、



13歳のアン・チェンダーちゃん

12月の試験では40名の同級生の中で1番になったということでした！(ちなみに2番、3番も未来学校出身の子どもだったということで、またまた驚きです。)お母さんの手伝いや未来学校に通う妹や弟の面倒など毎日忙しいそうですが、できるだけ長く勉強を続けて、将来は先生になれるように頑張りたいとのことでした。



アン・チェンダーちゃんと弟妹



子供たちにインタビュー（１）



子供たちにインタビュー（２） 後方に立っているのはリテイさん

### ルセイサン小学校窓・ドア補修作業

ルセイサン小学校から要請があり、「水と大地と緑の会」様の助成により進められてきた同校の窓とドアの補修作業が昨年12月に終了しました。ルセイサン小学校には校舎が2棟ありますが、その内の1棟の窓とドアは朽ちてしまったり、虫の被害によって損傷しているという状況で、教室内に教材を置けない、雨のときに児童が窓から離れなければならないという問題が出ていました。本事業では、古くなった木製の窓枠、ドア枠を撤去し、新たに鉄製の枠と新しい窓とドアの取り付けが行われました。現在は乾季のため当面雨の心配はありませんが、時を同じくして搬入された新しい机と椅子の盗難の心配はなくなったと学校職員も大いに喜んでいました。工事の終了にヨリヨリ、学校をその前身である寺子屋時代から見守り続けてきたグオン先生は、これを機会に子どもたちにモノを大切にする気持ちを一層しっかりと教えていきたいと語っていました。



教室のドア



校舎の外から見た窓



窓の詳細

### 現地でローカルNGOを設立

カンボジアにおいてNGO活動を行う場合、政府機関に登録する必要がありますが、来年度から日本人駐在員である安田が現地を離れることを機に、日韓アジア基金もカンボジア人スタッフを中心としたローカルNGO法人登録を行うこととなりました。多くのNGOがそうであるように、外国人駐在員を中心とした国際NGO登録という選択肢もありましたが、経費節減とプロジェクトの現地化が望ましいという観点から、この形を取るのが一番よいという結論にいたった次第です。法人登録後は、アジア未来学校の運営は日韓アジア基金が基本計画の作成、モニタリング（観察・助言）、資金調達を受け持ち、ローカルNGOが事業を実施するという両者の協力の下に行われ、ローカルNGOでは、これまで安田のアシスタントを務めてまいりましたポット・リティが中心となり活動を行ってまいります。日本、韓国、カンボジア、それぞれの市民が主体性を保ちながらも、教育という共通の目標に向かって活動する。これが理想の国際市民協力の形であるとすれば、今回の現地法人化もそうした理想への一歩となるのではないかと期待しています。遅くとも今年度中には申請手続きを終わらせられるように、現在関係省庁との手続き準備を進めておりますが、登録完了後に改めてご報告させていただきます。



勉強している子供たち

[カンボジアの活動に戻る](#)